改良湯

Kairyouyu
（東京都渋谷区）

普段通勤で東京駅を利用しているが、それでも渋谷駅の人込みには圧倒された。東京駅の利用者は主に通勤客と旅行者である。しかし、渋谷駅の利用者はそれ以外に街そのものを楽しもうという人がうじゃうじゃいる。つまり、人が持っているエネルギーのレベルが東京駅とは違うのである。

今回紹介する銭湯は改良湯。渋谷駅から徒歩 15 分ほどの距離の場所にある。渋谷駅の喧騒を離れ、交通量の多い明治通りを南下する。しばらくして一本路地裏に入るとたちまち普通の静かな住宅街になる。鳥のさえずりさえ聞こえてくる。やがて見えてくるのは大きなクジラの壁画。これが改良湯だ。

改良湯はリニューアルされた新しい銭湯だ。下駄箱の鍵と下駄箱の横の券売機で買ったチケットをフロントに提出すると、ロッカーの鍵が貸与される。脱衣室にはロッカーが 46 個あり、洗面台が 1 個、無料で使えるドライヤーが 2 個ある。

浴室は石とタイルで仕上げられているが、色が濃い目。天井は濃い青だろうか。窓がなく、全体的に暗い。夜の雰囲気を演出しているとも言える。このように暗めの空間にする理由は、裸をさらけ出さなくて良いようにとの気遣いらしい。耳を澄ますと、何やらヒーリング音楽がかかっている。音楽と言っても長いノートで和音を奏でているだけである。音楽というより、環境の一部という印象だ。

洗い場は少々狭く 10 か所。銭湯にしては珍しくリンスインシャンプーとボディーソープが具備されている。しかし、両方とも大量に消費しないと適量の泡が出ない。シャワーヘッドの水圧は十分だ。

浴槽は 3 つ。一つは熱めの日替わり湯。取材日は檜の香り湯だった。しかし、鼻が悪いせいか、あまり香りはしない。奥にはマッサージ風呂が 2 人分ある。圧倒的人気があるのはその隣にある炭酸泉である。

炭酸泉の湯温はぬるめ。このため長湯をしている人が多い。他に水風呂がある。

サウナは男湯が対流式、女湯が遠赤外線式。サウナの中は浴室よりさらに暗い。サウナで火照った体は水風呂で冷やすことが可能であるが、ゆっくり冷やしたければ、外に出る方法がある。サウナの隣に出入口があり、その外に椅子が並んでいる。

改良湯は、なぜか若い客の割合が高い。周辺に IT 企業が多いことが理由ではとの情報がある。あるいはサウナファン多いことが理由か。そして客の数自体も多い。銭湯では珍しく、洗い場待ちの列ができるほどだ。もちろん常時列ができるわけではない。また、スタッフもほぼ全員が若者である。男性スタッフだけでも 3 人はいたと思う。女湯に男性スタッフは入れないであろうから、女性スタッフも相当数はいるものと思われる。勢いのある銭湯だ。

尚、浴室内のペンキ画は少々意味不明のテーマだった。これはいったい何を描いているのだろうと考えていると、暇つぶしにはなる。また、水は石鹸が泡立ちやすい軟水を使用しているとのことだ。

改良湯は、現在の銭湯のあるべき姿を訴えかけている。

DATA

名称	改良湯
所在地	東京都渋谷区東 2-19-9
電話	03-3400-5782
営業時間	12：00～23：30（最終受付 23：00）
定休日	土曜日
入浴料	大人［12 才以上］ 500 円
	中人［6 才以上 12 才未満（小学生）］ 200 円
	小人［6 才未満（未就学児）］ 100 円
	サウナ追加料金 450 円
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2023 年 5 月 17 日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	なし